

令和8年度前期 情報検定

<実施 令和8年6月21日（日）>

1 級

(説明時間 13:20~13:30)

(試験時間 13:30~14:30)

- ・試験問題は試験開始の合図があるまで開かないでください。
- ・解答用紙（マークシート）への必要事項の記入は、試験開始の合図と同時に行いますので、それまで伏せておいてください。
- ・試験開始の合図の後、次のページを開いてください。＜受験上の注意＞が記載されています。必ず目を通してから解答を始めてください。
- ・試験問題は、すべてマークシート方式です。正解と思われるものを1つ選び、解答欄の○をHBの黒鉛筆でぬりつぶしてください。2つ以上ぬりつぶすと、不正解になります。
- ・辞書、参考書類の使用および筆記用具の貸し借りは一切禁止です。
- ・電卓の使用が認められます。ただし、下記の機種については使用が認められません。

<使用を認めない電卓>

1. 電池式（太陽電池を含む）以外の電卓
2. 文字表示領域が複数行ある電卓（計算状態表示の一行は含まない）
3. プログラムを組み込む機能がある電卓
4. 電卓が主たる機能ではないもの
 - * パソコン（電子メール専用機等を含む）、携帯電話、スマートフォン、タブレット、電子手帳、電子メモ、電子辞書、翻訳機能付き電卓、音声応答のある電卓、電卓付き腕時計、時計型ウェアラブル端末等
5. その他試験監督者が不適切と認めるもの

<受験上の注意>

1. この試験問題は18ページあります。ページ数を確認してください。
乱丁等がある場合は、手をあげて試験監督者に合図してください。
※問題を読みやすくするために空白ページを設けている場合があります。
2. 解答用紙（マークシート）に、受験者氏名・受験番号を記入し、受験番号下欄の数字をぬりつぶしてください。正しく記入されていない場合は、採点されませんので十分注意してください。
3. 試験問題についての質問には、一切答えられません。自分で判断して解答してください。
4. 試験中の筆記用具の貸し借りは一切禁止します。
5. 試験を開始してから30分以内は途中退出できません。30分経過後退出する場合は、もう一度、受験番号・マーク・氏名が記載されているか確認して退出してください。なお、試験終了5分前の合図以降は退出できません。試験問題は各自お持ち帰りください。
6. 試験後の合否結果（合否通知）、および合格者への「合格証・認定証」はすべて、Web認証で行います。
 - ①情報検定（J検）Webサイト合否結果検索ページ及びモバイル合否検索サイト上で、デジタル「合否通知」、デジタル「合格証・合格証明書・認定証」が交付されます。
 - ②団体宛には合否結果一覧ほか、試験結果資料一式を送付します。
 - ③合否等の結果についての電話・手紙等でのお問い合わせには、一切応じられませんので、ご了承ください。

問題 1 遊園地の入園料に関する次の記述を読み、各設問に答えよ。

J 遊園地の一人当たりの入園料は、表 1 のとおりである。なお、未就学児の入園料は無料である。

表 1 料金表

対象	入園料
シニア(65歳以上)	500円
大人(中学生～65歳未満)	1,000円
小学生	500円

入園料には割引制度があり、次の2つの場合に入園料から10%の割引が適用される。

- ・団体割引 … 10人以上で入園する
- ・クーポン割引 … インターネットやチラシの割引クーポンを提示する

これらの割引は併用が可能であり、割引額は割引適用前に入園料から計算する。例えば、大人料金に団体割引とクーポン割引が適用される場合、それぞれ1,000円の10%(100円)の割引になるため、800円となる。

<設問 1> 次の入園料を求めるデシジョンテーブル中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

表 2 入園料に関するデシジョンテーブル

シニアである	Y	Y	Y	Y	(1)	N	N	N	N	N	N	(2)
大人である	N	N	N	N		Y	Y	Y	N	N	N	
小学生である	N	N	N	N		N	N	N	Y	Y	Y	
10人以上の入園である	Y	Y	N	N		Y	N	N	Y	Y	N	
割引クーポンがある	Y	N	Y	N		N	Y	N	Y	N	Y	
400円	×	—	—	(3)	—	—	—	—	(4)	—	—	—
450円	—	×	×		—	—	—	—		×	×	—
500円	—	—	—		—	—	—	—		—	—	×
800円	—	—	—		×	—	—	—		—	—	—
900円	—	—	—		—	×	×	—		—	—	—
1,000円	—	—	—		—	—	—	×		—	—	—

(1), (2) の解答群

ア.

N
N
N
Y
Y

イ.

N
N
Y
N
N

ウ.

N
Y
N
Y
Y

エ.

Y
Y
N
Y
N

(3), (4) の解答群

ア.

×
—
—
—
—
—

イ.

—
×
—
—
—
—

ウ.

—
—
×
—
—
—

エ.

—
—
—
—
×
—

<設問 2> 次の入園料の計算に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

[ケース I]

父母(30代)と子ども2人(小学生と2歳)の家族4人で来園した。インターネットの割引クーポンの提示があった。入園料は合わせて (5) 円になる。

[ケース II]

遠足で小学生10名と引率5名(内65歳以上2名)で来園した。チラシの割引クーポンの提示があった。入園料は合わせて (6) 円になる。

(5) の解答群

- ア. 2,200 イ. 2,250 ウ. 2,500 エ. 2,700

(6) の解答群

- ア. 6,600 イ. 7,200 ウ. 8,000 エ. 10,000

問題2 次のコンピュータの周辺装置等に関する記述を読み、各設問に答えよ。

コンピュータの周辺装置とは、コンピュータ本体に接続し、入力や出力、保存などの機能を補う装置のことである。

<設問1> 次の補助記憶装置に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

補助記憶装置の一例としてハードディスクや光ディスクがある。これらの装置においては、円盤の回転や読み書きヘッドの移動など機械的動作にかかる時間が、アクセスタイムに大きく影響を与える。

これに対して、フラッシュメモリを記憶媒体として使用し、電氣的に読み書きを行うため機械的動作を必要としない□□(1)□□がある。□□(1)□□は、OS やアプリケーションの保存など、頻繁な読み書きを前提としているため、高速性と書き換え耐久性が重視されている。

同様に、フラッシュメモリを記憶媒体とし外付けの携帯型記憶装置である□□(2)□□がある。主にデータの一時保存や受け渡しを目的としているため、□□(1)□□と比較し、携帯性と低コストが重視されている。

(1) の解答群

- | | |
|---------|--------|
| ア. CCD | イ. DVD |
| ウ. SRAM | エ. SSD |

(2) の解答群

- | | |
|---------|------------|
| ア. DRAM | イ. NAS |
| ウ. PROM | エ. USB メモリ |

<設問2> 次の通信技術に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

社会における IT 化や業務の自動化を支える技術として注目されているのが□□(3)□□である。□□(3)□□は、記憶機能を持つ IC チップと無線通信を行うアンテナによって構成され、電波を利用してタグの情報を非接触で読み取る技術の総称である。複数のタグを同時に読み取ることが可能であり、物流や在庫管理などの分野で広く活用されている。その中でも□□(4)□□は、近距離で通信する技術で、主に人がかざして使う方法で利用され、スマートフォン、交通系 IC カード、クレジットカードなどで利用されている。

(3), (4) の解答群

- | | |
|--------------|---------|
| ア. Bluetooth | イ. HDMI |
| ウ. NFC | エ. RFID |

<設問3> 次のプリンタに関する記述に最も関係の深い字句を解答群から選べ。

(5) 感光ドラム上に静電パターンを形成し、その上にトナーを付着させ、熱・圧力によって用紙に定着させることで印刷をする。1枚あたりの印刷コストが安価であり大量印刷に適しているため、オフィスで多く採用されている。

(6) 立体データをもとに、材料を積層して形成する積層造形方式があり、その一種として、樹脂を熱で溶かして積層する FDM(熱溶解積層)方式がある。新製品の設計評価などを短期間で行うための試作品の作成や学校・研究機関における模型作成などで活用されている。

(7) 微細な粒子を紙に吹き付けることにより印刷を行なう装置で、機械的な衝撃音が無いため、比較的静かに動作する。写真やカラー印刷に強く、静音・小型で設置しやすいため家庭向けとして多く普及している

(5) ~ (7) の解答群

- | | |
|----------------|-----------------|
| ア. 3Dプリンタ | イ. XYプロッタ |
| ウ. インクジェットプリンタ | エ. ドットインパクトプリンタ |
| オ. 熱転写プリンタ | カ. レーザプリンタ |

問題3 次のネットワークの利用に関する記述を読み、各設問に答えよ。

組織内のネットワーク(LAN)を構築する際には、OSI参照モデルの階層構造を理解し、トラフィックの制御や経路選択を行うための適切な接続装置を選定しなければならない。さらに、無線LANの導入においては、可用性の確保だけでなく、秘匿性を守るための暗号化や認証技術への理解も求められる。

<設問1> 次のLAN構築に関する記述中の[]に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

LANを構築する際、接続する端末数やケーブルの延長距離、トラフィックの分離などを考慮して適切な接続装置を選択する必要がある。これらは、OSI参照モデルのどの階層でデータを処理するかによって分類できる。

LANケーブルを流れる電気信号が減衰した際、信号の波形を増幅・整形して中継し、伝送距離を延長する装置を[(1)]という。これはOSI参照モデルの物理層(第1層)で動作するため、データの宛先判断などは行わず、すべてのポートに信号を流す。

一方、データリンク層(第2層)で動作し、送られてきたフレームのヘッダに含まれる[(2)]を学習・識別して、宛先の端末がつながっているポートのみにデータを転送する装置をスイッチングハブ(レイヤ2スイッチ)という。これにより、ネットワーク内の不要なトラフィックを減少させることができる。

さらに、異なるネットワーク(サブネット)同士を相互接続し、パケットのヘッダに含まれるIPアドレスを基に最適な経路選択(ルーティング)を行う装置が[(3)]である。この装置はネットワーク層(第3層)で動作し、ブロードキャストパケットが他のネットワークへ流出するのを防ぐ役割も果たす。

(1) ~ (3) の解答群

- | | |
|------------|-------------|
| ア. DNS | イ. IPアドレス |
| ウ. MACアドレス | エ. サブネットマスク |
| オ. ゲートウェイ | カ. ブリッジ |
| キ. リピータハブ | ク. ルータ |

<設問 2 > 次の無線 LAN に関する記述中の [] に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

近年では、タブレット端末やノート PC の利用拡大に伴い、無線 LAN の導入が必須となっている。有線 LAN と無線 LAN を相互接続し、無線端末の基地局となる装置を [(4)] という。複数の [(4)] を設置して一つのネットワークとして運用する場合、最大 32 文字の英数字で構成される識別子である [(5)] を共通の設定にすることで、端末が移動しても通信を継続するローミングが可能になる。

セキュリティ対策も重要である。第三者による不正接続を防ぐため、電波信号の中に [(5)] を含めずに発信し、あらかじめ設定を知っている端末以外からはネットワーク名が見えないようにする [(6)] 機能を用いることが多い。また、通信内容の盗聴を防ぐための暗号化方式には、従来の WPA2 の脆弱性を解消し、SAE(Simultaneous Authentication of Equals)ハンドシェイクという技術を採用してセキュリティ強度を高めた [(7)] の利用が推奨される。

(4) ~ (7) の解答群

- | | |
|-------------|-------------|
| ア. ANY 接続拒否 | イ. ESSID |
| ウ. HTTPS | エ. WEP |
| オ. WPA3 | カ. アクセスポイント |
| キ. ステルス | ク. テザリング |

問題4 次の社会における情報化に関する記述を読み、各設問に答えよ。

最近では、スマートシティの実現に向けて、街灯・駐車場・ゴミ収集設備などに多数のセンサを設置し、稼働状況や環境データを収集するシステムが導入されている。また、工場における生産設備の稼働監視や異常検知にIoT技術が利用されている。

<設問1> 次のIoTの利用に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

IoTを利用しているシステムでは、通信コストや消費電力を抑えつつ、必要に応じてリアルタイム性の高い処理を行うことが求められている。そのため、用途に応じて□□(1)□□や□□(2)□□、□□(3)□□といった技術が使い分けられている。

例えば、街灯やゴミ収集設備などのセンサから、低消費電力で長距離通信を行う技術として□□(1)□□が利用される。また、ウェアラブルデバイス、IoTデバイス、パソコン周辺機器など主にバッテリー駆動で動作する機器との短距離通信では、従来の機器に比べて通信速度と通信頻度を下げることによって省電力化を図った□□(2)□□が用いられることが多い。

さらに、工場においては設備の異常を即座に検知する必要があるため、すべてのデータを遠隔のサーバに送信するのではなく、現場の装置付近でデータ処理を行う□□(3)□□が有効である。

(1) ~ (3) の解答群

- ア. BLE(Bluetooth Low Energy)
- イ. IrDA(Infrared Data Association)
- ウ. LPWA(Low Power Wide Area)
- エ. エッジコンピューティング
- オ. クラウドコンピューティング

<設問2> 次のデータの活用に関する記述中の□□□□に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

企業や社会活動の中で生成される、量が多く、種類が多様で、発生速度も速いデータを□□(4)□□と呼ぶ。これらには、SNSの投稿、Webのアクセスログ、IoT機器からのセンサデータなども含まれ、従来のデータベースでは扱いにくい形式のものもある。これを加工せずにそのままの形で蓄積するための仕組みが□□(5)□□であり、将来の分析や活用を見据えたデータの保管場所として利用されている。

また、企業において、分析のために整理・加工されたデータを格納する仕組みを□□(6)□□と呼び、そのデータに対して□□(7)□□を行うことで、意思決定に役立つ知識を得ることができる。

(4) ~ (7) の解答群

ア. データウェアハウス

ウ. データマイニング

オ. ビッグデータ

イ. データクレンジング

エ. データレイク

カ. メタデータ

問題5 次の公開鍵暗号基盤に関する記述を読み、各設問に答えよ。

公開鍵暗号基盤は、安全な通信を実現するための仕組みであり、ペアになっている公開鍵と秘密鍵を使用して暗号化や電子署名の作成を行う。認証局は公開鍵の正当性を証明するデジタル証明書を発行し、利用者はそのデジタル証明書を検証することで相手の正当性を確認できる。

認証局は、申請者の審査が完了すると、デジタル署名が施されたデジタル証明書を申請者へ送る。認証局の暗号鍵のうち、公開鍵は広く公開されているため、利用者はデジタル証明書に付与された認証局のデジタル署名を検証して正当性を確認できる。

しかし、発行されたデジタル証明書が常に有効であるとは限らない。秘密鍵の漏洩や組織の変更などにより、デジタル証明書を無効化する必要が生じる場合がある。その際に利用されるのが CRL (Certificate Revocation List : 証明書失効リスト) である。認証局は失効させた証明書の一覧を定期的に公開している。

<設問1> 次の公開鍵暗号方式を使った暗号文の送信に関する記述中の [] に入れるべき適切な字句の組み合わせを(1)の解答群から選べ。

公開鍵暗号方式で暗号化したデータを伝送する場合、暗号化するために使用する鍵は [(a)] であり、復号に使用する鍵は [(b)] である。

(1) の解答群

	(a)	(b)
ア.	受信者の公開鍵	受信者の公開鍵
イ.	受信者の公開鍵	送信者の秘密鍵
ウ.	受信者の公開鍵	受信者の秘密鍵
エ.	受信者の秘密鍵	送信者の公開鍵
オ.	受信者の秘密鍵	送信者の秘密鍵
カ.	受信者の秘密鍵	受信者の公開鍵

<設問2> 次のデジタル署名に関する記述中の [] に入れるべき適切な字句の組み合わせを(2)の解答群から選べ。

デジタル署名は、公開鍵暗号方式を利用して伝送するデータの正当性を保証する技術である。送信者は送信する平文をハッシュ化して得られたメッセージダイジェストを [(c)] で暗号化してデジタル署名を作成する。受信者は [(d)] を使用して、受け取ったデジタル署名を検証する。

(2) の解答群

	(c)	(d)
ア.	受信者の公開鍵	受信者の秘密鍵
イ.	受信者の公開鍵	送信者の公開鍵
ウ.	受信者の秘密鍵	送信者の秘密鍵
エ.	送信者の公開鍵	送信者の公開鍵
オ.	送信者の秘密鍵	送信者の公開鍵
カ.	送信者の秘密鍵	受信者の公開鍵

<設問 3> デジタル署名を使用することによって確認できることを(3)の解答群から選べ。

(3) の解答群

- ア. 送信者の正当性とデータが改ざんされていないこと。
- イ. データが暗号化されていること。
- ウ. 伝送中に盗聴されていないこと。
- エ. 匿名で送信されたデータであること。

<設問 4> 次のデジタル証明書の作成手順に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

申請者がデジタル証明書を申請し、使用するまでの流れは次のようになる。

1. (4) は、秘密鍵と公開鍵を作成する。
2. 申請者は、公開鍵およびサーバに関する情報をまとめた CSR (Certificate Signing Request : 証明書署名要求) を作成して認証局に送る。
3. 認証局は審査後、申請者の公開鍵と識別情報を含むデジタル証明書を生成し、 (5) でデジタル署名したうえで申請者へ送る。
4. デジタル証明書をサーバにインストールする。

(4) の解答群

- ア. デジタル証明書を検証する利用者
- イ. デジタル証明書の発行を申請する申請者
- ウ. デジタル証明書を発行する認証局
- エ. デジタル証明書を保管するリポジトリ

(5) の解答群

- ア. 申請者の公開鍵
- イ. 申請者の秘密鍵
- ウ. 認証局の公開鍵
- エ. 認証局の秘密鍵

<設問 5> CRL を参照することでわかることを(6)の解答群から選べ。

(6) の解答群

- ア. デジタル証明書が本物であること
- イ. デジタル証明書が偽物であること
- ウ. デジタル証明書が無効であること
- エ. デジタル証明書が更新されていること

<設問 6> 次のハイブリッド暗号方式に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

公開鍵暗号方式のデメリットとして、計算負荷がかかる、公開鍵暗号基盤が必要、秘密鍵の安全な管理が必要であることなどが挙げられる。そこで、TLS などでは共通鍵暗号方式と組み合わせたハイブリッド方式が利用される。TLS を利用している Web サーバとクライアントが鍵のやり取りをする手順は次のとおりである。

1. クライアントは (7) を生成する。
2. 生成した (7) を (8) を使用して暗号化し、Web サーバに送信する。
3. 以降の通信は、 (7) を用いて暗号化と復号を行う。

(7) , (8) の解答群

- ア. Web サーバの公開鍵
- イ. Web サーバの秘密鍵
- ウ. 共通鍵
- エ. クライアントの公開鍵
- オ. クライアントの秘密鍵

問題6 この問題で使用する表計算ソフトの仕様を読み、各設問に答えよ。

この問題で使用する表計算ソフトの仕様は下記のとおりである。

CONCATENATE 関数

複数の文字列を結合して1つにまとめた文字列を返す。

書式：CONCATENATE(文字列1, 文字列2, …)

COUNTIF 関数

指定した範囲に含まれるセルのうち、条件に一致するセルの個数を返す。

書式：COUNTIF(範囲, 条件)

IF 関数

条件が真のときに真の場合、偽のときに偽の場合の計算結果や値を返す。

書式：IF(条件, 真の場合, 偽の場合)

OR 関数

論理式の評価が1つでも真であれば真、すべて偽であれば偽を返す。

書式：OR(論理式1, 論理式2, …)

SUM 関数

指定した範囲に含まれる数値の合計値を返す。

書式：SUM(範囲)

SUMIF 関数

検索範囲の中から条件に一致するセルを検索し、合計範囲の中の対応するセルの合計値を返す。

書式：SUMIF(検索範囲, 条件, 合計範囲)

VLOOKUP 関数

検索範囲から検索値を探し、位置で指定した列の値を返す。位置は1から始まる相対的な値であり、検索範囲中に見つけた行の中で、左から何番目の列かを示す。なお、検索方法は0の場合は完全に一致する値を探し、1の場合は検索値以下の最大値を探す。ただし、1の場合の検索範囲は昇順に並べ替えておく必要がある。

書式：VLOOKUP(検索値, 検索範囲, 位置, 検索方法)

WEEKDAY 関数

日付を表すシリアル値から曜日を表す数値(1～7：1が日曜, 2が月曜, …, 7が土曜)を返す。

書式：WEEKDAY(シリアル値)

式

=に続いて計算式や関数などを入力する。

セル番地の絶対参照

セル番地に\$を付けることで、絶対番地（絶対参照）を表す。

別シートの参照

ワークシート名に「!」を付けてセル位置を指定することにより、別のワークシートを参照できる。例:ワークシート名「集計」のセルA1を参照する場合は、「集計!A1」と記述する。

お土産物を扱っているJ商店は、道の駅に販売店を構えており、この販売店での販売状況を集計するために表計算ソフトを使った。なお、ここで集計するのは2026年3月1日から2026年3月31日までの販売状況である。また、日付が格納されているセルは日付を表すシリアル値が格納されており、YYYY/MM/DD形式の書式を設定してある。

[商品ワークシートについて]

販売店で扱っている商品は5種類あり、商品コードの昇順に「商品」ワークシートに入力した。

	A	B	C
1	商品コード	商品名	価格
2	P001	商品A	980
3	P002	商品B	1,280
4	P003	商品C	1,880
5	P004	商品D	2,300
6	P005	商品E	2,800

図1 「商品」ワークシート

[販売員ワークシートについて]

販売店で勤務する販売員は10名おり、販売員コードの昇順に「販売員」ワークシートに入力した。

	A	B
1	販売員コード	氏名
2	S001	伊藤 愛菜
3	S002	梅田 翔太
4	S003	高橋 陽菜
5	S004	千葉 陸
6	S005	佐藤 美咲
7	S006	篠田 悠斗
8	S007	田中 彩花
9	S008	津田 大翔
10	S009	安田 結衣
11	S010	鈴木 陽翔

図2 「販売員」ワークシート

[祝日ワークシートについて]

平日と土日祝日（以下休日とする）別の集計をするため、2026年の祝日を日付の昇順に「祝日」ワークシートに入力した。

	A	B
1	日付	名称
2	2026/01/01	元日
3	2026/01/12	成人の日
⋮	⋮	⋮
18	2026/11/03	文化の日
19	2026/11/23	勤労感謝の日

図3 「祝日」ワークシート

[販売ワークシートについて]

2026年3月1日から2026年3月31日までの販売情報を「販売」ワークシートに入力した。販売した順に格納されているため、日付の昇順には並んでいるが、商品コードと販売員コードの並びは不定である。なお、データは3000行まで入力した。

	A	B	C	D
1	日付	販売員 コード	商品 コード	販売数
2	2026/03/01	S005	P005	1
3	2026/03/01	S006	P003	1
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
2999	2026/03/31	S004	P002	1
3000	2026/03/31	S003	P001	5

図4 「販売」ワークシート

<設問 1> 次の「販売」ワークシートの拡張に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図 4 の「販売」ワークシートを拡張して、E 列に販売金額、F 列と G 列に検索の処理で利用する文字列を求める。

	A	B	C	D	E	F	G
1	日付	販売員 コード	商品 コード	販売数	販売金額	検索 1	検索 2
2	2026/03/01	S005	P005	1	2,800	S005P005	P005休日
3	2026/03/01	S006	P003	1	1,880	S006P003	P003休日
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
2999	2026/03/31	S004	P002	1	1,280	S004P002	P002平日
3000	2026/03/31	S003	P001	5	4,900	S003P001	P001平日

図 5 拡張した「販売」ワークシート

- ・ E 列は、商品の価格と販売数を基に販売金額を求める。次の式をセル E2 に入力し、セル E3～E3000 に複写する。

= (1)

- ・ F 列は、販売員ごとに販売した商品を求めるため、販売員コードと商品コードを合成した文字列を求める。次の式をセル F2 に入力し、セル F3～F3000 に複写する。

= CONCATENATE(B2, C2)

- ・ G 列は、商品が平日と休日（土日祝日）でどれくらい販売されているかを集計するため、商品コードと“平日”または“休日”を合成した文字列を求める。次の式をセル G2 に入力し、セル G3～G3000 に複写する。

= CONCATENATE(C2, IF((2), "休日", "平日"))

(1) の解答群

- ア. VLOOKUP(C2, 商品!\$A2:\$C11, 3, 0) * D2
- イ. VLOOKUP(C2, 商品!A\$2:C\$11, 3, 0) * D2
- ウ. VLOOKUP(C2, 商品!A\$2:C11, 3, 0) * D2
- エ. VLOOKUP(C2, 商品!A2:C11, 3, 0) * D2

(2) の解答群

- ア. OR(WEEKDAY(A2)=1, WEEKDAY(A2)=7, COUNTIF(祝日!A\$2:A\$19, A2)=1)
- イ. OR(WEEKDAY(A2)=1, WEEKDAY(A2)=7)
- ウ. OR(WEEKDAY(A2)=1, COUNTIF(祝日!A\$2:A\$19, A2)=1)
- エ. OR(WEEKDAY(A2)>6, COUNTIF(祝日!A\$2:A\$19, A2)=1)

<設問2> 次の「販売員別集計」ワークシートの作成に関する記述中の に
入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図5の拡張した「販売」ワークシートから、販売員ごとと商品ごとの集計をする「販売員別集計」ワークシートを作成する。なお、集計金額は3桁カンマ区切りの書式を、割合はパーセント表示で小数点以下第1位まで表示する書式を設定している。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1					P001	P002	P003	P004	P005
2	販売員 コード	氏名	販売額	割合	商品A	商品B	商品C	商品D	商品E
3	S001	伊藤 愛菜	1,567,040	7.7%	8.3%	14.6%	21.2%	31.4%	24.5%
4	S002	梅田 翔太	2,155,900	10.5%	11.2%	13.2%	21.1%	26.4%	28.2%
5	S003	高橋 陽菜	2,143,800	10.5%	11.9%	14.7%	21.0%	29.6%	22.9%
6	S004	千葉 陸	1,654,060	8.1%	12.3%	14.9%	21.1%	19.6%	32.0%
7	S005	佐藤 美咲	1,687,600	8.2%	9.1%	12.1%	18.8%	24.8%	35.2%
8	S006	篠田 悠斗	2,451,500	12.0%	12.2%	16.0%	17.5%	23.5%	30.8%
9	S007	田中 彩花	2,260,520	11.1%	10.8%	15.2%	21.8%	25.8%	26.4%
10	S008	津田 大翔	1,954,800	9.6%	15.4%	16.8%	13.5%	21.2%	33.1%
11	S009	安田 結衣	2,459,860	12.0%	12.0%	15.4%	22.6%	23.8%	26.2%
12	S010	鈴木 陽翔	2,121,920	10.4%	10.4%	16.0%	17.1%	23.7%	32.7%
13		合計	20,457,000						

図6 「販売員別集計」ワークシート

- ・A列の販売員コードとB列の氏名は、「販売員」ワークシートから複写し、セルE1～I1の商品コードおよびセルE2～I2の商品名は「商品」ワークシートから複写した。
- ・セルC3～C12は、販売員ごとに販売額の合計を求める。次の式をセルC3に入力し、セルC4～C12に複写する。
=
- ・セルC13は、販売額の合計を求める。次の式をセルC13に入力した。
= SUM(C3:C12)
- ・セルD3～D12には、C列に求めた販売額が全体の何パーセントになるかを表示する。セルD3に次の式を入力し、セルD4～D12に複写する。
=
- ・セルE3～I3は、販売員ごとの販売額に対する、販売員が販売した商品ごとの割合を求める。次の式をセルE3に入力し、セルE4～E12、およびセルF3～I12に複写する。
= /

(3) の解答群

- ア. SUMIF(販売!\$B2:\$B3000, \$A3, 販売!\$E2:\$E3000)
- イ. SUMIF(販売!\$B2:\$E3000, \$A\$3, 販売!\$B2:\$E3000)
- ウ. SUMIF(販売!B\$2:B\$3000, A3, 販売!E\$2:E\$3000)
- エ. SUMIF(販売!E\$2:E\$3000, A3, 販売!B\$2:E\$3000)

(4) の解答群

- ア. \$C\$3 / \$C\$13
- イ. C\$3 / C\$13
- ウ. C3 / C\$13
- エ. C3 / C13

(5) の解答群

- ア. SUMIF(販売!\$E\$2:\$E\$3000, CONCATENATE(A\$3, \$E1), 販売!\$F\$2:\$F\$3000)
- イ. SUMIF(販売!\$E\$2:\$E\$3000, CONCATENATE(\$A3, E\$1), 販売!\$F\$2:\$F\$3000)
- ウ. SUMIF(販売!\$F\$2:\$F\$3000, CONCATENATE(A\$3, \$E1), 販売!\$E\$2:\$E\$3000)
- エ. SUMIF(販売!\$F\$2:\$F\$3000, CONCATENATE(\$A3, E\$1), 販売!\$E\$2:\$E\$3000)

(6) の解答群

- ア. \$C\$3
- イ. \$C3
- ウ. C\$3
- エ. C\$3

<設問 3> 次の「商品別集計」ワークシートの作成に関する記述中の に入れるべき適切な字句を解答群から選べ。

図 5 の拡張した「販売」ワークシートから、平日と休日（土日祝日）の販売数を集計する「商品別集計」ワークシートを作成する。なお、販売数は 3 桁カンマ区切りの書式を、割合はパーセント表示で小数点以下第 1 位まで表示する書式を設定している。

	A	B	C	D	E	F
1			平日		休日	
2	商品コード	商品名	販売数	割合	販売数	割合
3	P001	商品 A	803	24.5%	1,585	19.9%
4	P002	商品 B	831	25.4%	1,564	19.6%
5	P003	商品 C	650	19.8%	1,482	18.6%
6	P004	商品 D	613	18.7%	1,605	20.1%
7	P005	商品 E	379	11.6%	1,743	21.8%
8		合計	3,276		7,979	

図 7 「商品別集計」ワークシート

- ・ A 列の商品コードと B 列の商品名は「商品」ワークシートから複製した。
- ・ C 列は、平日の販売数の合計を商品ごとに求める。次の式をセル C3 に入力し、セル

C4～C7, およびセル E3～E7 に複写した。

=

- セル C8 は, 販売数の合計を求める。セル C8 に次の式を入力し, セル E8 に複写した。

= SUM(C3:C7)

- D 列は, 販売数全体における各商品の割合を求める。セル D3 に次の式を入力し, セル D4～D7, およびセル F3～F7 に複写した。

=

(7) の解答群

ア. SUMIF(販売!\$D\$2:\$D\$3000, CONCATENATE(\$A\$3, \$C\$1), 販売!\$G\$2:\$G\$3000)

イ. SUMIF(販売!\$D\$2:\$D\$3000, CONCATENATE(\$A3, C\$1), 販売!\$G\$2:\$G\$3000)

ウ. SUMIF(販売!\$G\$2:\$G\$3000, CONCATENATE(\$A\$3, \$C\$1), 販売!\$D\$2:\$D\$3000)

エ. SUMIF(販売!\$G\$2:\$G\$3000, CONCATENATE(\$A3, C\$1), 販売!\$D\$2:\$D\$3000)

(8) の解答群

ア. C3 / \$C\$8

イ. C3 / \$C\$8

ウ. C3 / \$C8

エ. C3 / C\$8

<メモ欄>

<メモ欄>

<メモ欄>

